

目次

| | |
|--|----|
| 桜美林学園100年史刊行にあたって | 1 |
| 目次 | 2 |
| 凡例 | 4 |
| I 学園創立者 清水安三・美穂・郁子 | 6 |
| I - 1 ■ 清水安三 | 6 |
| 若き日の清水安三/学校設立へ/ジャーナリストとして/ 崇貞学園の発展とともに/戦後の清水安三 | |
| I - 2 ■ 清水美穂 | 16 |
| 崇貞工読学校の初代校長 | |
| I - 3 ■ 清水郁子 | 18 |
| 「新しき女性」像の追求/婦人運動家・思想家として/教育実践者として | |
| II 北京・崇貞学園 | 24 |
| II - 1 ■ 崇貞学園時代 | 24 |
| 1920年代の崇貞学園/1930年代初頭の学園/崇貞女学校から崇貞学園へ/ 学園の諸相/1930年代後半 学園の発展/日本への留学生たち/日本人部の誕生/ セツルメント天橋愛隣館 一第二の崇貞学園をめざして/1940年代の学園の発展と接収 | |
| II - 2 ■ 崇貞学園のその後 | 42 |
| 接収後の変遷/交流と継承 | |
| III 桜美林学園の創立と展開 | 46 |
| III - 1 ■ 創立期の桜美林学園 | 46 |
| 学園の創設/急ピッチで進められた学校設置/校地・校舎確保のための募金活動 | |
| III - 2 ■ 学園行事と教職員 | 52 |
| 学園の諸行事/教職員 | |
| III - 3 ■ 荊冠堂と桜美林教会 | 56 |
| 桜美林教会/荊冠堂チャペル/礼拝 | |
| III - 4 ■ 学園の対外活動 | 62 |
| 国際・地域社会連携/同窓会・後援会 | |
| IV 桜美林中学・高校・幼稚園 | 66 |
| IV - 1 ■ 桜美林高等女学校 | 66 |
| 高等女学校としてスタート | |
| IV - 2 ■ 桜美林中学校 | 68 |
| 学校施設/学校生活 一日々の学び/学校生活 一移動教室・文化祭・体育祭等/ 学校生活 一移動教室・修学旅行/学校生活 一クラブ活動 | |
| IV - 3 ■ 桜美林高等学校 | 78 |
| 学校施設 創立～旧校舎時代/学校施設 各年代の校舎/校内スナップ 登下校風景/ 授業の取り組み/学校行事 一入学式・卒業式・キリスト教行事・周年行事/ 学校行事 一桜祭り・文化祭・体育祭・合唱コンクール/ 学校行事 一遠足・臨海学校・修学旅行/ クラブ活動 一野球部夏の甲子園大会初出場初優勝の活躍/ クラブ活動 一剣道部・男子バレー部・美術部・吹奏楽部・軽音楽部/国際交流 | |
| IV - 4 ■ 桜美林幼稚園 | 98 |
| 開園式と旧園舎/キリスト教保育/新園舎と特色ある教育/新たな取り組み | |

| | |
|--|-----|
| V 桜美林短大・大学・大学院 | 106 |
| V - 1 ■ 校舎・施設の変遷 | 106 |
| 短大創設期の頃の校舎 | 106 |
| 桜美林学園草創期の木造校舎/復活の丘への校舎建設 | |
| 発展期の短大・大学 | 110 |
| 短大校舎の整備/大学施設の整備/図書館と体育館 | |
| 新キャンパスの建設 | 116 |
| 大学院のキャンパス整備/町田キャンパスの再整備/PFCと多摩アカデミーヒルズ/ 新宿・東京ひなたやまキャンパスの整備 | |
| 諸施設の整備 | 124 |
| V - 2 ■ 短期大学 | 126 |
| 短大の設置と教育のスタート | 126 |
| 短大の発足/短大の拡充と教育風景 | |
| 規模の拡大と教育の充実 | 130 |
| 短大の発展と研究活動/留学制度と学生生活 | |
| 短大改革と最後のあゆみ | 134 |
| V - 3 ■ 大学・大学院 | 136 |
| 念願の大学設置認可 | 136 |
| 4学部の大学へ、大学院の設置 | 138 |
| 文学部/経済学部と経営政策学部/国際学部/大学院 | |
| 学部から学群へ、新学群の設置 | 146 |
| 総合文化学群から芸術文化学群へ/ビジネスマネジメント学群と航空・マネジメント学群/ 健康福祉学群/リベラルアーツ学群/グローバル・コミュニケーション学群 | |
| 学校行事 | 156 |
| 入学式と卒業式/礼拝とチャペル/大学案内・オープンキャンパス/合宿・研修・留学 | |
| V - 4 ■ 学生の活動と生活 | 164 |
| 大学紛争と学生生活/体育祭/学園祭・大学祭/国際交流プログラム/ 社会貢献・地域貢献/運動部(OACU体育会)の活動/文化部(OACU文化会)の活動/ 活躍するOACU/学生団体の活動 | |
| 資料 | 182 |
| ■ 学園の沿革 | 183 |
| ■ 園児・生徒・学生数の推移 | 198 |
| ■ 歴代理事長・学園長・学長・設置校長等一覧 | 200 |
| 主要参考資料・協力者・関係者一覧 | 204 |
| 編集後記 | 208 |

図 録

凡 例

- 1 本編は、「桜美林学園 100 年史」第 1 巻『図録編』として編集したもので、桜美林学園の前身となる崇貞学園の時代から今日に至る、写真・図版等の資料を収録した。
- 2 本編は、学園史編集委員会で定めた次の編集方針に基づき編集した。
 - ①桜美林学園の前身である 1921 年の崇貞学園創立から現在までを対象とする。
 - ②資料点数等を勘案し、北京・崇貞学園時代については、前史的扱いとする。
 - ③学園創立者 清水安三・郁子については、町田時代まで通して取り扱う。
 - ④各設置校に軸を置いて、時系列的に編集を行う。
 - ⑤収録内容は、校舎・施設・教職員に止まらず、大学祭・文化祭・体育祭等の学園行事や授業風景、学生・生徒の部活動での活躍の様子などについても配慮する。
 - ⑥可能な限り、ポスター・チラシ・学校案内、その他実物資料の写真も活用する。
- 3 目次の章タイトルの色は、各章のページカラーに対応している。
- 4 掲載写真には、撮影場所・撮影年代等を表記したが、不明なものはやむを得ず表記しなかった。
- 5 掲載写真・図版等は、とくに明示のない限り、本学園所蔵のものである。
- 6 敬語・敬称は、原則として省略した。
- 7 本文の表記は、原則として現代仮名遣いと常用漢字を使用した。が、歴史的用語・引用資料の語句・固有名詞などの用語については例外とした。
- 8 必要に応じて、語句には読み仮名を振った。
- 9 年号表記は、原則として西暦を用いた。ただし、年代表記として「1960 年代」「昭和 30 年代」などとした箇所がある。
- 10 外国の地名、人名、学校名等は原則として片仮名で表記した。
- 11 本編における学園の呼称には「オバリン」「オーバリン」「オベリン」等がある。時代によって呼称が異なるため、あえて統一しなかった。
- 12 本編における施設の名称は、時代ごとに使われていた通称名で表記されている場合がある。ただし参考資料の年表については、施設管理部管理課台帳に記載の名称を用いた。
- 13 編集にあたり、著作権や肖像権には極力配慮したが、お気づきの点があれば、事務局の学園史編さん室へお申し出で頂きたい。